

# 見樹院ニュース

O T E R A N E W S

第 5 1 号 2010 年 3 月 1 4 日 発行

浄土宗 見樹院  
住職 大河内秀人

〒112-0002

東京都文京区小石川3-4-14

TEL 03 (3812) 3711

FAX 03 (3815) 7951

Eメール: [kenjuin@nam-mind.jp](mailto:kenjuin@nam-mind.jp)

[Http://www.nam-mind.jp](http://www.nam-mind.jp)



地鎮式を終えて集合写真 (2009 年 12 月 20 日)

## 新築工事

## 年内完成をめざし進行中

見樹院の新築工事は、昨年十一月に着工し、その後は順調に進行しております。

戦後の復興から、多くの方々のお力とアイデアで出来上がり、慣れ親しんできた建物が取り壊されていく姿に寂しさを禁じ得ませんでした。しかしそれと同時に、新たな

歴史に向けて、覚悟も深まってくる思いがあります。

一か月以上かけて解体された後、晴天に恵まれた十二月二十日、総代・世話人各位をはじめ、分譲住宅部分に入居する建設組合員、設計事務所やコーディネーター、施工会社のご参列をいただき、地鎮式を執り行い、年末から本格的な工事が始まりました。

とは言え、三十メートル以上の現場造成杭を十九本打つなど、基礎部分にも十分な手間と時間をか

け、まだまだ地上部分が建ち上がっているという状況ではありません。そして化学物質を使わない「天然住宅」仕様で、さらに三百年以上の長寿命をめざし、コンクリートも水分を少なくするため、鉄筋の張り方一つにしても複雑で難しい工事です。諸般の事情により、着工が若干遅れた分、完成予定も十二月へとずれ込みますが、宗祖法然上人の800年大遠忌に当たる来年は、新築された伽藍で迎えることとなります。

皆様にはしばらくご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご理解、ご協力の程お願い致します。

### お彼岸中の墓参について

総代・世話人の方々のご協力をいただき、下記の日程で墓地に詰めております。この期間中はお線香をつけてお参りしていただけます。なお、駐車スペースはありませんので、お車でお越しの場合は、伝通院前のパーキングメーターか、付近の駐車場をご利用下さい。

3月18日 (木・彼岸入り)

3月20日 (土)

3月21日 (日・中日)

3月22日 (月・休)

午前10時～午後4時

上記以外の日時は、お線香のご使用はできません。また、ご用の際は、仮事務所までお越し下さい。

# ご本尊を寿光院に遷座

新築工事にともない、ご本尊はか須弥壇(しゅみだん)上の仏像、お位牌、荘厳類は、そっくりそのまま、住職が兼務する、江戸川・寿光院の釈迦堂にお移りいただきました。

昨年十月二十四日、見樹院旧本

堂で遷座式を行い、同二十六日から三佛堂桜井商店により引越し作業に入りました。須弥壇等の大きな荘厳具は三佛堂さんに預け、必要に応じて補修を行って、新しくなった本堂に再び収めていただくことになっています。

そして、十一月八日に総代・世話人各位ご参列のもと、寿光院で遷座開眼法要を行いました。

寿光院の釈迦堂は、本堂とは別棟の、主に葬儀などで使用する場所ですが、写真のようにちょうどぴったりと合う感じが収まって頂いております。見樹院が完成するまでの間、ご法事などもできますので、よろしければこの機会にどうぞおまいり下さい。



## 工事の様子



地鎮式では工事の安全と無事完成を願い、参列者の思いを小石に託し鎮め物としました。



# 御忌と大師号

## 御忌 (ぎよき)

法然上人の忌日法要のことを、特別に「御忌」と称します。本来、天皇家における法会の呼称でしたが、一五二五年、後柏原天皇より、法然上人の法要を「御忌」と呼ぶよう勅許が下されて、今日に至っています。

浄土宗を開かれた法然上人(源空)は、建暦(けんりやく)二年《一二二二年》一月二十五日、京都東山大谷の禅房(現在の知恩院勢至堂)において、八十歳でお亡くなりになりました。

当初、本山での御忌会は一月末の七日間行われていましたが、明



治一〇年から、春暖な四月になりました。芝の大本山増上寺でも、毎年四月初めの一週間にわたり、盛大に催されます。

## 八〇〇年大遠忌 (だいおんき)

来年は宗祖法然上人の八百回忌に当たります。毎年行われている御忌ですが、五十年ごとの節目の御忌を「遠忌(おんき)」と呼び、今回も『宗祖法然上人八〇〇年大遠忌』として、浄土宗を挙げて様々な記念事業に取り組んでいます。

## 大師号 (だいしごう)

「〇〇大師」という号は、徳の高い高僧に朝廷から贈られる尊称です。通常は一人に対して一つですが、法然上人だけは元禄十(一六九七)年に東山天皇より贈られた後、一七一一年の五〇〇年忌以降は、五〇年毎の遠忌の年に、その時の天皇から加賜される習しになり、①円光(東山天皇)、②東漸(中御門天皇)、③慧成(桃園天皇)、④弘覚(光格天皇)、⑤慈教(孝明天皇)、⑥明照(明治天皇)、⑦和順(昭和天皇)と、七つの大師号をいただいております。

基礎杭は 30 数mの深さまで掘った穴に籠状の鉄筋を繋いで行き、コンクリートを流し込みます。



太めの鉄筋がかなりしっかりと組まれています。



# 工事に関するお願いと今後の予定について

## 一部墓地の移動について

今回の工事にもない、南東側の道路に密接した墓地について、規制による道路の拡幅のため移動をお願い致しておりますが、それとは別に南側（墓地入口近く）の一部の墓石を、一時的に移動していただく必要が生じました。

該当する区画の方には、個別にお願いを申しあげますが、何卒ご理解ご協力をお願い致します。

なお、移動・移設の経費については見樹院の負担にて行わせていただきます。

また、旧本堂前にありました合同墓も移設致しました。

## 新総代に名取氏

この度、新たに檀信徒総代として、名取亮さんにご就任いただきました。

名取さんは数学者として、筑波大学の副学長を退官された後は、講談協会の事務局をお勤めになられてはるといふ、ご先代譲りの芸

## 今年の施餓鬼会は伝通院で

今年の施餓鬼会は、例年と同じく、六月最終日曜日（二十七日）の午前十一時半から、場所は伝通院の織月会館をお借りして厳修します。

詳細は近くなりましたら、あらためてご案内申し上げます。

## お彼岸墓参と見樹会費について

表紙でもご案内申し上げました通り、春のお彼岸に際して、十八日、二十日、二十一日、二十二日の四日間につきましては、総代・世話人さん方にご協力いただき墓地入口に受付、お線香つけのテ

能通でもいらつしやいます。また、昨年は奥様と共に、伝通院で開筵された、浄土宗信徒としての奥義を伝えられる「五重相伝会」を満行されました。

今回の建築事業につきましても、すでに世話人としてご尽力いただいております。見樹院にとつてたいへん心強い限りです。

ントを設置し対応させていただきます。

その際、見樹会費等、現金をご持参頂く場合は、必ず封筒等に入れご記名の上、お預け下さい。

それ以外の日時にお越しの場合は、仮寺務所の方へお願い致します。

なお、とくにご用の場合は、事前にお電話でご確認の上お越し下さい。

## 工事現場への立入は厳禁です

工事期間中、墓地については皆さんがおまわりできるよう、通路と水道は確保しております。それ以外の工事現場へは、危険ですので決して立ち入らないで下さい。

もしも何かございましたら、まずは仮寺務所にご連絡いただき、留守の場合は、住職の携帯

090(3213)4575  
へご連絡ください。

## 駐車場はありません

伝通院前のパーキングメーターか、近くのコインパークをご利用下さい。近隣の方々には、騒音や振動、工事車両の行き来などでも大変ご迷惑をかけていますので、

できる限りのご配慮をお願いいたします。

## 秋に本山参拝を計画中

大遠忌を控え、お待ち受けの今年、秋彼岸の後か十月頃に、京都の総本山知恩院にお参りしたいと考えています。現在、ビーエス観光に、天橋立・若狭方面との組み合わせのコースを検討してもらっています。乞うご期待！

